



平成25年11月22日
国土交通省中部地方整備局
木曾川上流河川事務所

フラワーパーク江南コンポストセンター見学会を開催します

概要

国営木曾三川公園では、資源の有効利用に取り組み、循環型社会の形成に寄与することに努めています。

その取り組みの一環として、フラワーパーク江南において、剪定枝、刈草等を集約し堆肥化を行うコンポストセンターの運用を開始しました。つきましては、国営木曾三川公園で活動しているボランティア、自治体、記者へ運用状況をお披露目する見学会を開催します。

1. 開催日時 平成25年11月29日(金) 14:00～15:00
2. 開催場所 愛知県江南市小杵町一色 フラワーパーク江南 (別紙①参照)
集合場所 クリスタルフラワー1Fセミナー室
3. 概要
 - ・コンポストセンター施設概要について
 - ・植物発生材の堆肥化について
 - ・コンポストセンター運用デモンストレーション
4. 資料 別紙概要パンフレット
5. 配布先 江南市記者クラブ、一宮日刊記者クラブ、各務原市政記者クラブ
6. 問合せ先 木曾川上流河川事務所 河川公園課長 かねはら 包原 勝則
〒500-8801 岐阜市忠節町 5-1
TEL.058-251-1379 FAX.058-251-1564
7. その他 当日の天候により中止となる場合があります。



フラワーパーク江南コンポストセンター



堆肥棟

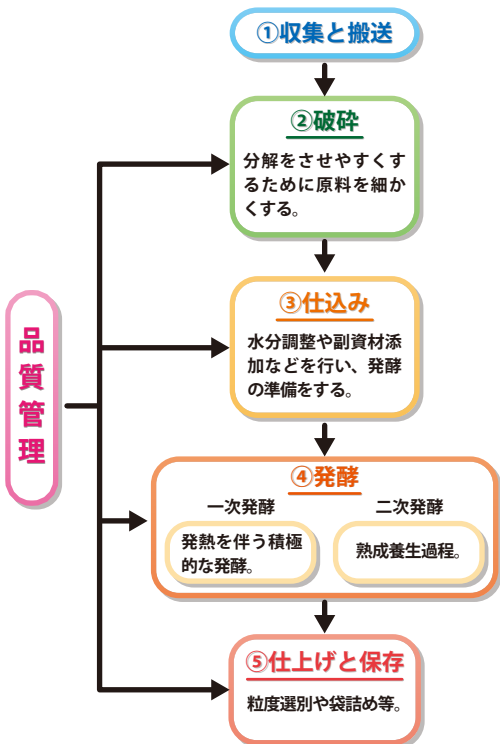


三派川地区マスコットキャラクター
「ミズリン」

堆肥化とは？

落葉や刈草などの植物発生材を堆積して発酵させ、植物の栽培や生育に適した堆肥（土壌改良材）にすることを堆肥化といいます。堆肥化は概ね以下の過程から構成されます。

〔堆肥化の流れ〕



参考)「植物発生材堆肥化の手引き」平成10年6月 (社)道路緑化保全協会



交通のご案内

お車をご利用の場合

- 名古屋方面、東海北陸道一宮・木曾川インターから、国道22号線を北へ、「黒田西石原」交差点を右折、約25分。
- 岐阜方面からは、国道22号線を南へ、「北方町」交差点を左折、約25分。

最寄り駅より

- 名古屋鉄道犬山線、江南駅よりタクシーにて約15分(約4.5km)。

施設情報のご案内

利用時間	4月1日～11月30日 9:30～17:00	3月1日～3月31日 9:30～17:00	
	12月1日～2月末日 9:30～16:30	※駐車場は8:30に開門します。 ※但し7月16日～8月31日の月曜～金曜は9:30～17:00、土曜・日曜・祝日は9:30～19:00	
入園料	無料	駐車場	無料 360台 大型12台
休園日・休園日	毎月第2月曜日(休日の場合は直後の平日)、12月31日、1月1日		

お問い合わせ先

フラワーパーク江南

〒483-8414 愛知県江南市小萩町一色

TEL:0587-57-2240 FAX:0587-57-2241

<http://www.kisosansenkoen.go.jp/>

フラワーパーク江南

コンポストセンター



コンポストセンター

国営木曾三川公園では、リサイクル・省資源に配慮した管理運営を行っています。資源の有効利用に取り組み、循環型社会の形成に寄与することに努めています。

その取り組みの一環として、国営木曾三川公園三派川地区の拠点の一つである「フラワーパーク江南」において、三派川地区内の4拠点（フラワーパーク江南、138タワーパーク、かさだ広場・各務原アウトドアフィールド、河川環境楽園（木曾川水園））で発生する植物発生材（剪定枝、刈草等）を集約し堆肥化を行うコンポストセンターを整備しました。



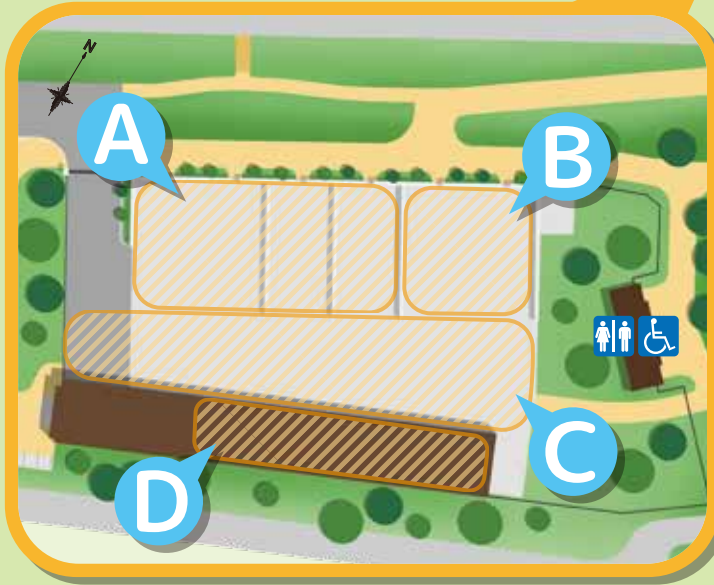
三派川地区での
 推定植物発生材量※
約1,500m³

堆肥化

堆肥生産予定数量
約300m³

※推定植物発生材量とは、今後開園予定のエリアで発生する、植物発生材を含めた量です。

コンポストセンター 各施設の紹介



A スtockヤード

三派川地区の施設で発生した植物発生材を芝草、刈草、剪定枝毎に分別し、各ヤードに集積します。



B 破碎ヤード

破碎機器を使用し、集積した植物発生材の破碎作業を行います。伐採木等の太いものは、原木利用するもの、チップ化利用するものに分別し破碎ヤードに集積します。



D 発酵槽

破碎後の水分調整等の仕込みが終わった材料を堆積させ発酵を行います。完成した堆肥のうち、すぐに使用するもの以外はそのまま発酵槽に保管し熟成させます。



C 作業ヤード

破碎後の草本系と木本系の材料を混合し、水分調整を行います。発酵槽内の堆肥の切返し作業スペースとして利用します。



資源の再利用

三派川地区の各拠点から発生する植物発生材のうち、再利用可能なものは公園で活用し、コンポストセンターで堆肥化したものは、三派川地区の各施設で草花植栽地の土壌改良材として使用します。

